第４０巻第２号　　　　　　　　２０１２年2月１日

目の見えない方・見えにくい方の情報誌

読書

２０１２年２月号

（社福）日本ライトハウス情報文化センター

●電話
図書貸出　　　移転のため休止中
サービス全般　０６－６４４１－００３９
その他（総務）　０６－６４４１－００１５
（火～土曜日の１０時～１７時）
●休館日　日・月・祝日、年末年始・夏期

＜　もくじ　＞

◆ひごばしニュース　　　２頁
◆便利グッズ紹介　　　　３頁
◆お役立ち本棚　　　　　休載
◆情報カフェ　　　　　　５頁
◆出版図書コレクション７頁
◆手で見る図鑑　　　　　７頁
◆点字・録音新着図書　休載

●２月～３月の休館について

図書貸出サービスは、書庫移転作業のため４月２日（月）まで休止させていただきます。皆さまに大変ご迷惑をおかけしますが、どうかしばらくの間、ご容赦下さい。今、お借りいただいている点字・録音図書の返却は３月以降にお願いいたします。４月の貸出再開以降の電話番号や住所などは、次号でお伝えできる見込みです。なお、対面リーディング、プライベート製作は、通常通りご利用いただけます。貸出休止期間中のご連絡は、肥後橋本館のサービス部（電話０６－６４４１－００３９）へどうぞ。

２月１１日（土）＝祝日のため全館休館。

３月７日（水）＝ボランティア交流会のため、全館休館。

ひごばしニュース

●日本ライトハウス９０周年記念　ベートーヴェン「第９」の　チャリティコンサートにご招待

　日本ライトハウスでは、第３０回チャリティコンサートを４月１４日（土）１８時３０分から大阪市北区のザ・シンフォニーホールで開催します。

　今回は日本ライトハウス９０周年を記念して、ベートーヴェンの「交響曲第９番ニ短調『合唱付き』」と、メンデルスゾーンの「ヴァイオリン協奏曲ホ短調Ｏｐ．６４」他をお届けします。演奏は、澤和樹（さわ・かずき）指揮、千里フィルハーモニア・大阪と、長年にわたり日本ライトハウスを応援して下さっているヴァイオリニストの和波孝禧さん。「合唱」には、視覚障害のソプラノ歌手澤田理絵さんとテノール歌手の楊雪元（よう・せつげん）さん他が出演。豪華な出演者による素晴らしい音楽をぜひお楽しみ下さい。

　日時　４月１４日（土）１７時３０分開場、１８時３０分開演

　会場　ザ･シンフォニーホール（ＪＲ福島駅から徒歩８分）

　入場料　３，５００円（当日座席指定券に引替）

　このコンサートに、抽選で視覚障害の方３０組６０名様をご招待します。お申し込みは、ハガキ（点字可、１枚１組まで）に、住所、氏名、電話番号を書き、２月２７日（月）必着で、〒５３８－００４２大阪市鶴見区今津中２－４－３７日本ライトハウスチャリティコンサート係へお送り下さい。

　お問い合わせは、月～金曜日の９時～１７時に、募金事業部（電話０６－６９６８－１０３０）まで。結果発表は、招待券の発送（３月第２週に郵送）をもって代えさせていただきます。

●音声解説ＣＤで「映画」を　お楽しみ下さい！

　当センターでは、音声解説サポートボランティアの協力により、これまで当センターの「わろう座映画会」で上映した人気作品「釣りバカ日誌シリーズ」の音声解説ＣＤを製作。２月よりＤＶＤとセットで貸し出します。（映画の視聴には、パソコンと専用ソフトのインストールが必要です。）

　また、音声解説サポートボランティアグループ「キネマ・アンサンブル」からも、２タイトルの音声解説ＣＤをご寄贈いただきましたので、合わせて貸し出します。

　新規貸出タイトル

　「釣りバカ日誌１」

　「釣りバカ日誌２」

　「鬼平犯科帳劇場版」

「天空の城ラピュタ」

２月から３月は、書庫移転のため図書貸出は休止していますが、音声解説ＣＤはこれまで通り、貸し出します。今後も随時、貸出用の音声解説ＣＤを作り、貸し出していきますので、ご期待下さい。

音声解説ＣＤの貸出などに関するお問い合わせは、サービス部（電話０６－６４４１－００３９）までご連絡下さい。

●「情報通信機器」の訪問・来館サポートは３月１７日で終了

国・大阪市の緊急雇用創出基金事業により行ってきた「視覚障害者情報通信機器利用支援事業」は今年３月で終了します。それに伴い、大阪市内のご自宅への訪問、および当センター内でのデイジー機器やパソコンの個人サポートは、３月１７日（土）で終了させていただきます（訪問は３月１５日（木）まで）。２００９年１０月から２年半の間、大勢の皆さまにご利用いただき、ありがとうございました。４月以降は、形を変え、当センター内で、パソコン・電子機器の手ほどきや個人指導を行います。詳しくは、次号以降でご紹介する予定です。

便利グッズ紹介

お申し込み・お問い合わせは、サービス部（電話０６－６４４１－００３９）まで。

《１．商品情報》

●白杖用石突き「ジャンボチップ」

シイタケ型の大きな石突きです。元は白杖を使い始めた子ども用に開発されたもの。白杖の先が浮かないように重みをつけるため、直径約６．５ｃｍの半球状になっています。また、白杖を前後左右に滑らせたときの引っかかりが少なく、大人が使うのにも便利です。オリジナル直杖に取り付け可能。（折りたたみ式アドバンテージにも取り付けられますが、うまく折りたためなくなります。）価格は２，９００円（税込）。

●ものまねハムスター「ミミクリーペット」

こちらが話した言葉をマネする、かわいいハムスターのぬいぐるみ。声をそっくりコピーするので、笑い声などもマネします。重さ約１７０グラム、単４乾電池３本使用。２，９４０円（税込）。大きさはちょうど両手に収まるくらいで、なで心地も抜群。一家に一匹、ぜひいかがでしょうか？

●パナソニック製レコーダー実演ガイド「ＨＤＤ、ブルーレイレコーダーＢＷＴ５１０」編

先月号に続き、実演ガイドに新たなシリーズが加わりました。今回発売するのは、パナソニックのレコーダー「ＢＷＴ５１０」編。「ＢＷＴ５１０」は昨年９月に発売された簡単操作のレコーダーです。実演ガイドは、音楽ＣＤ版（４枚組）またはデイジー版（１枚）で、価格はいずれも３，１５０円（税込）。

なお、この実演ガイドはレコーダーの取扱説明書の音声版ではありません。また、「ＢＷＴ５１０」以外の機種には対応しておりません。ご注意下さい。

●骨伝導ヘッドホン「ＰＣボーン」

「骨で音を聴く」ヘッドホンシリーズの新型です。マイク付きＵＳＢコードとヘッドホンのセットで、パソコンに直接つないでお使いいただけます。

この商品は、音の基となる振動を骨に伝える「骨伝導」技術を応用しています。耳の手前に当てて音を聴くので、周囲の音も聞こえます。音漏れ、鼓膜への負担が少なく、重さ約３０グラムと軽量で、長時間使用しても疲れにくいのが特徴です。ＵＳＢコード７０ｃｍ、ヘッドホンコード４０ｃｍ。８０ｃｍの延長コード付属。価格は、１０，０００円（税込）。

●音声標識ガイドシステム「シグナルエイド３」

手のひらサイズの本体を操作することにより、公共施設等の音響・音声案内を受信したり、一部の信号機で歩行者用青信号の時間延長ができます。情報提供エリアを受信すると「ピッピッピッ」という音で知らせますので、本体の上部のボタンを押すことにより音声案内が受けられます。価格は、１２，０００円（税込）。日常生活用具としての給付実績もあります。

≪２．講習会情報 ≫

●プレクストークリンクポケット体験会

インターネット上のサピエ「デイジー・オンライン」を通して、デイジー図書データを再生・ダウンロードできる携帯型録音再生機「プレクストーク リンクポケット」の体験会です。

日時　２月１８日（土）と３月１７日（土）にそれぞれ４回、各回１時間。開始時間は１０時、１１時１５分、１３時３０分、１４時４５分。どの時間帯でも内容は同じです。

定員　各４名（先着順）

従来のプレクストークＰＴＰ１と同様の機能も持っていますが、デイジー・オンラインに関する部分についてのみの体験会とさせていただきます。

情報カフェ

●「八日目の蝉」映画上映会開催

２０１１年大ヒット映画「八日目の蝉」を音声解説付きで上映！角田光代原作の同名小説を映画化。誘拐された少女と犯人の女との逃亡劇とその後の運命を描いたヒューマン・サスペンスです。

映画会終了後には、東京から俳優業の傍らシティライツ（ボランティアグループ）でライブガイドを手がけている檀鼓太郎（だん・こたろう）さんを招いてトークショーを開催します。

主催　関西音声サポート

協力　日本ライトハウス情報文化センター

日時　３月１０日（土）１２時開場、１２時３０分開演。映画上映後トークショー（３０分）、終了予定１６時

会場　玉水記念館（地下鉄四つ橋線肥後橋駅８番出口すぐ）。

当日、肥後橋駅南改札から会場までの誘導もあります。

参加費　無料

定員　１５０人（内１００人は先着、５０人は抽選）

お申込みは、電話でお願いします。２月２１日(火)９時１５分から２５日(土)１７時までの間に、情報文化センター総務係（電話０６－６４４１－００１５)まで。氏名と電話番号、ガイドの有無をお知らせ下さい。

ストーリー　妻ある男と愛し合い､その男の子を身ごもりながら、産むことを諦めざるをえなかった女。彼女は、同時に男の妻が子どもを産んだことを知る。その赤ん坊を見に行った女は、突発的にその子を連れ去り、逃避行を続けた挙句、小豆島に落ち着き、母と娘として暮らしはじめる。

出演　永作博美（ながさく・ひろみ)、井上真央(いのうえ・まお)

監督　成島出(なるしま・いずる)

●大阪フィルハーモニー協会からのご案内

３月８日（木）１９時から北区のザ・シンフォニーホールで行われる定期演奏会に、当センターの利用者５組１０名様をご招待します。大山平一郎の指揮、野平一郎のピアノで、ウェーバーの「歌劇『オベロン』序曲」、ベートーヴェンの「ピアノ協奏曲第４番ト長調作品５８」、シューマンの「交

響曲第３番変ホ長調『ライン』作品９７」を演奏。招待ご希望の方は郵便で、住所、氏名、電話番号、点字プログラム希望の有無を明記の上、２月１５日（水）までに当センター大フィル係までご応募下さい。結果発表は招待券の発送をもって代えさせていただきます。

●（ＰＲ）メガトレンド株式会社より「捜せるんです！」のご紹介

日常生活用具候補品の「捜せるんです！」。物をさがす、場所をさがす、人を呼ぶ。自分ひとりで解決できます。

今までの類似品とは違い、近くに同じ製品があっても誤動作しません。高性能です。

使い方は簡単。普段なくして困るものに子機を取り付けておき、親機から捜したい子機の番号キーを押した後、確定キーを押すだけです。子機からメロディが流れるので音を頼りに捜せます。

価格　親機１台・子機３台セット＝１９,８００円

親機１台・子機５台セット＝２９,８００円

親機１台・子機１０台セット＝４９,８００円

送料、消費税込で動作確認電池付きです。

取扱説明書は音声ＣＤ、点字、墨字有り。

大きさ　親機１０ｃｍ×４．５ｃｍ、子機５．４ｃｍ×３．６ｃｍ

お問い合せ、ご注文は、情報文化センターサービス部（電話０６－６４４１－００３９、祝日を除く火～土曜日の１０時～１７時）までどうぞ。

なお、詳しくは同封しております墨字版のチラシをご覧下さい。

●関西電力から節電のお願い

この冬は、電力需給が非常に厳しくなる見込みです。弊社は、引き続き供給力確保に向けて全力を尽くしてまいりますが、広域的な停電を回避するため、やむを得ず、お客さまに節電のご協力をお願いしております。
ご不便とご迷惑をおかけしまして誠に申し訳ございません。何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

節電に対するお問い合わせにつきましては、節電お問い合わせ専用ダイヤル（０１２０－９１１－７７７：受付時間　平日９時～２０時、土日祝９時～１７時３０分）へお問い合わせ下さい。

出版図書コレクション

●紛争請負人からのメッセージ本

　世の中から紛争やテロなどを一掃する—そんな、人類にとって永遠のテーマとも言うべき難題と向き合っているのが本書の著者伊勢﨑賢治さんです。伊勢﨑さんは、アフガニスタンなどで紛争処理の任務を経験し、現在は日本の大学で世界に平和をもたらすための具体的な方法について研究しています。

　本書の前半では、多くの困難を伴う武装解除の模様や紛争が起こる背景などが分かりやすく解説されています。そして後半では、学生たちとの研究から生まれた「ピース・アド」（平和広告）というアイディアが紹介されています。伊勢﨑さんたちが目を付けたのは、戦争を起こす側は、その戦いの正当性を強くアピールするべく効果的に広告を用いているという点で、それなら、人々の平和への意識を高めるのにも広告が大いに役立つと考えたのです。そしてゆくゆくは、平和をビジネスとして広げ、戦争をするよりも多くのお金が生まれるような仕組みを作りたいと､強い意気込みを示します。

　３・１１によって､「あたりまえの日々」の貴さを再認識した今こそ、ぜひお読みいただきたい１冊です。

　「さよなら紛争～武装解除人が見た世界の現実～」伊勢﨑賢治著、点字全２巻、３，４００円（価格差補償の原本価格１，２００円）

　ご購入は図書販売部（電話０６－６７８４－４４５６）まで。なお、当センターでは上記の図書を貸し出していますが、現在貸出休止中のため、４月以降に貸出窓口までご連絡下さい。

手で見る図鑑

●日本ライトハウス創業９０周年のロゴマーク決定！

　日本ライトハウスは、創設者岩橋武夫が自宅で点字出版事業を始めた１９２２年（大正１１年）から数えて、今年で９０周年を迎えます。１１月１８日（日）には大阪市中央公会堂で記念式典を開催しますが、この９０周年を広く伝えていくため、職員のアイディアを元にロゴマークを作りました。

　このロゴマークのベースとなったのは、日本ライトハウスのシンボルマークで、次ページ左下のように、円の中にライトハウスの頭文字Ｌが書かれ､円周上に灯台（ライトハウス）の灯りをイメージし

た８つの突起があります。

　９０周年のロゴマークは、右下のようなデザインです。円の中はＬのかわりに大きく「９０」の文字と、その右下に小さく「周年」の文字が入り、円の上に「灯りをかかげて」、下に「１００年に向かって」の文字が配されています。色は、全体がライトハウス・カラーの緑、「１００年に向かって」の文字がオレンジです。「９０」の文字は、英語の小文字の「go」とも読める書体で、これまでの歩みを振り返り、１００年に向かって前進するという想いが込められています。

　このロゴマークは、当法人の封筒や職員の名刺などに印刷し、９０周年を広くアピールしていきます。

「読書」２０１２年２月号（発行２０１２年２月１日）

発　行　社会福祉法人日本ライトハウス情報文化センター

発行人　橋口　勇男

住　所　〒５５０－０００２ 大阪市西区江戸堀１－１３－２

定　価　１部 ５０円（年間購読料 ５００円、府内は無料）

振　替　大阪 ００９００－２－３１１３２６

●サービス部（本館５階）

電話 ０６－６４４１－００３９

FAX ０６－６４４１－１１２６

E-mail enjoy@lighthouse. or. jp

●貸出窓口

移転のため休止中